創立 1951.1.1　承認 1951.3.23　登録番号 7734

RI 2016-17 のテーマ
人類に奉仕するロータリー
2016-17 RI 会長
ジョン F. ジャーム

国際ロータリー第 2530 地区 2016-17 年度

福島ロータリークラブ会報

vol. 14
WEEKLY REPORT
2016.11.17
thu

【事務所】福島市栄町 5-1 ホテル辰巳屋 7F　【例会日】木曜日 12：30
【TEL】024-524-1010【FAX】024-524-1011
【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp　info@f-rotary.com

Rotary

http://www.f-rotary.com/

本日のプログラム

クラブ訪問スピーチ　RI 第 2530 地区県北第一分区ガバナー補佐　**善方邦雄** 様
新会員スピーチ　㈱ドコモ CS 東北福島支店長　**高倉裕行** 会員

会長あいさつ

第 14 回会長挨拶

古侯　猛 会長



本日は、来年に行われる予定の当クラブの大きな事業について概要説明をしたいと思います。まず一つ目は日台友好親善コンサートについてであります。ご存知の通り、後藤忠久実行委員長を筆頭に実行委員会も立ち上がっており、いわゆる全体事業的な規模となりますので 会員の皆様全員のご協力とご尽力を賜ることとなると思います。まず開催日程でありますが 平成29年4月21日（金）、福島市音楽堂にて 午後2時より市内小学生を招待し、第一部を約2時間行います。第二部は有料一般の部として午後6時30分より2時間程度のコンサートを行う予定であります。

その前後の日程でありますが、4月20日（木）には台湾楽団の皆さんは福島に入り、リハーサルを行う予定です。4月22日（土）は楽団の規模を少し小さくして市内数ヶ所において慰問演奏をしていただく予定です。その日の夜においては、お疲れ様会として、楽団の皆様と、お世話クラブの第3520地区台北士林ロータリークラブの皆様、さらには台北文湖ロータリークラブの皆様も交えて交流を深めたいと考えております。4月20日（木）の例会を 4月22日（土）に振替をして夜間例会として開催したいと今のところ考えています。

二つ目の事業でありますが、福島大学と福島RC地域連携講座であります。この事業については、当クラブ会員の本保NHK局長の尽力により、今現在調整中でありますが、概要について簡単に説明をいたします。事業時期としては、来年の4～7月にかけて、毎週木曜日の午前中に70分程度の講義をするもので、全14～15回の回数となっておりますので、当然、当クラブから各界を代表する14、5名の会員に講師となっていただきますので、宜しくお願いします。

特に注目すべき点は、これはただの講演会ではなく、あくまでも授業の一環でありますので、学生には受講単位も出ますし、学生には感想文を提出してもらい、その採点も我々がするとのことであります。まさに職業奉仕の典型の様な事業でありますので、ご協力の程宜しくお願いしたいと思います。1月中には、講義予定者を福大に報告する予定です。以上、両事業とも来年実施の行事ではありますが、今後早急に具体的な打ち合わせを進めますので、改めてご協力をお願いしまして会長挨拶とします。

例会次第

開会点鐘　古侯　猛 会長
ロータリーソング「我等の生業」
ソングリーダー　菅野　晋 会員



「四つのテスト」唱和　後藤洋伸 会員
お客様並びに来訪ロータリアン紹介
ロータリー財団大口寄付者認証の贈呈式
会長あいさつ　古侯　猛 会長
食事
幹事報告　管野裕一 幹事
各委員会報告
●プログラム・ニコニコBOX小委員会
プログラム担当　氏川守義 委員長



12月プログラムご案内
ニコニコBOX担当　熊坂仁美 委員



◎本日のプログラム
閉会点鐘　古侯　猛 会長

例会プログラムのご案内

11月25日（金）　川俣町　新川

川俣RCと合同夜間例会
＊川俣RC会員による新蕎麦、シャモ料理をふるまって頂きます。
＊交通は、送迎バスを利用致します。

幹事報告

例会変更のお知らせ
●福島西RCは21日（月）・28日（月）、福島北RCは22日（火）の例会は理事会承認休会となります。
●当クラブ次週11/25（金）川俣RCとの合同夜間例会が開催されます。出欠変更等の参加〆切は22日となります。

その他のお知らせ
●理事会議事録と12月プログラム予定をFAXにてご案内しております。
●今月はロータリー財団月間です。財団への寄付を受け付けておりますので宜しくお願い申し上げます。

クラブ訪問スピーチ



RI第2530地区県北第一分区
善方邦雄 ガバナー補佐

福島ロータリークラブさんのガバナー補佐の訪問は、今回で3回目となりました。

分区行事に対しまして、会長さん、幹事さん、そして会員の皆様にはいつもご協力を頂きありがとうございます。又、先月開催されましたガバナー晩餐会には、大勢の会員に出席を頂きありがとうございました。

2016-17年度ガバナー方針は、地区目標に6項目掲げられ4ヶ月が経過致しました。福島ロータリークラブさんも会長賞を目指し、目標に向かって頑張っていると思います。ぜひ100%にしていただきたいと思います。

日本のオリンピックとロータリー

ブラジル・リオデジャネイロで開催されたオリンピック競技(8月)・パラリンピック(9月)日本選手の大活躍に興奮冷めやらない方も多いのではないでしょうか。そして、五輪旗は、2020年・第32回大会の開催地は東京に引き継がれました。これまで日本国内で開催されたオリンピック・パラリンピック、に日本のロータリーアンたちも関わってきております。その一端を、ロータリーの友、10月号に掲載されました。この記事を読み感動致しました。この記事を読んだ方も多いかと思いますがもう一度照会させていただきます。

1964年に開催されました東京オリンピック組織委員会の会長に安川第五郎氏(東京RC)、駒沢体育館の設計を手がけた芦原義信会員(東京銀座RC)など、委員会に名を連ねました。

台座に徽章　国立競技場の聖火台

1961年5月28日～6月1日、東京ロータリクラブをホストクラブに、国際ロータリー年次大会が東京で開催されました。3年前から大会協力金として、全国のロータリーアンから年一人1,000円を集めていましたが、足りなかったため都内のクラブに追加寄付を呼びかけ、約4,000万円を集めました。結果として約300万円の余剰金が生まれ、この余剰金で記念事業を遺すことになり、国際ロータリー東京大会事業委員会が設置されました。東京では、東京オリンピックを2年後に控えた1962年から、1958年に第3回アジア競技大会の際に建設された国立競技場の拡張工事が始められていました。

そこで記念事業委員会では「聖火台設備工事代」として304万円の寄付を決定、1963年4月に国立競技場に寄付しました。翌1964年、国立競技場からの「聖火台の位置をさらに高くしたい」との要望を受け、在京24クラブで費用250万円を負担、同年、「炉火台移設工事代」として競技場に寄付しています。

札幌オリンピック(1972年2月3～13日)
全国ロータリーアンの寄付による聖火台

日本のロータリーによる聖火台建設は、第350・351区(北海道全域)のロータリー聖火台建設委員会が全国約5万人のロータリーアンに協力を呼びかけ実現。3年間で約2,400万円を集めました。1970年2月の札幌ロータリクラブの例会では、聖火台をデザインした柳宗理氏が「純白の雪をバックに金箔が独特渋い色を放つようにしたい」と報告しました。又、大ヒット曲となった「虹と雪のバラード」が札幌西ロータリクラブ会員の作詞であることを強調し、「全世界のロータリーアンにとってこの2つは大きな誇りである」と解説しています。「札幌オリンピック開会式の模様は衛生中継で全世界にテレビ放映された。聖火最終ランナーが聖火台に火を灯した時3メートルもある巨大な焔がパーと吹き上げた。この瞬間テレビ・アナウンサーは、この聖火台が日本のロータリーアンの寄付によるものであることを、全世界の視聴者に告げたのであります。

長野冬季オリンピック(1998年2月7～22日)

20世紀最後の第18回オリンピック冬季オリンピック大会。競技会場が長野県各地に分散され、第2600地区(長野県)長野オリンピック協力委員会では、野沢温泉、志賀高原、東信軽井沢、長野、白馬の5か所に実行委員会を組織し、世界からの観客を迎え入れました。ジャンプ競技飛距離判定定員など、役員として大会運営に直接関わったロータリーアンも多かったようです。

感動のジャンプ競技会場　正面にミニ聖火台を寄贈(白馬地区)

原田雅彦選手、船木和喜選手らが金メダルを獲得し感動を呼んだ白馬ジャンプ競技場。第2600地区ではそのラージヒル、ノーマルヒルのジャンプ台の正面に「ミニ聖火台」を寄贈、開幕前年の1997年11月に除幕式を行いました。情報彫刻家・菊竹清文氏による基本デザインは開会式会場、閉会式会場のメイン聖火台と同じもので、高さ2,15m、架台2m。また、聖火台の周辺に、地区内58クラブの名前を付けたオオヤマザクラ58本を植樹しました。

2020年に開催する東京オリンピックにも我々ロータリアンも今後素晴らしい活動して、東京オリンピック・パラリンピックを成功にするロータリーアンになっていきましょう。

最後に、貴ロータリークラブ様におかれましては、阿久津パストガバナーのご指導の下、我がRI2530地区を代表するクラブであります。リーダークラブとしまして今後とも益々のご発展をご祈念申し上げます。



新会員スピーチ

㈱ドコモCS東北福島支店長
高倉裕行 会員

○氏名：高倉裕行（昭和36年生 55歳）
2016年4月～着任
○出身地：福島県南会津郡下郷町
- 観光 大内宿（ネギそば）、塔のへつり、湯野上温泉駅（かやぶき屋根）
- 食物 猿楽台のそば畑、しんごろう（じゅうねん味噌）

○出身校：会津高校
- 高校時代は吹奏楽 トロンボーン アバウトな楽器性格もアバウト
  合唱部は全国大会総理大臣賞で副賞ピアノ、今年も全国大会で金賞
- 福島大学経済学部
  キャンパスは金谷川 経済学部移転
  昭和56年4月に移転1年目
- 前森合キャンパス美術館が跡地

○家 族：妻、子供二人
- 妻　会津若松市出身
- 長女 高校1年
- 長男 中学2年

○食べ物：ラーメン中心に麺系
- 福島市 森合「佐川食堂」が好き、その他有名店が多くて楽しみ
- 電力前の「とんかつ利福」に大学時代通っていた

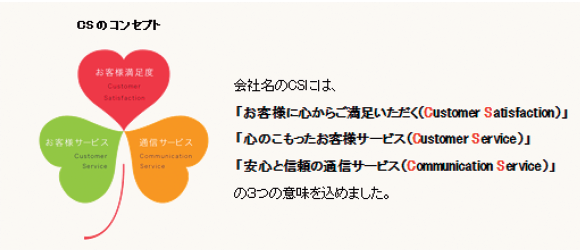
○お酒：ビール・ワイン、最近は日本酒（とくに福島県産）も少しづつ
石林 紹興酒

○趣味：・半年に1度程度 美術館で絵画鑑賞
- ゴルフは年5～6回程度 スコアはほぼ10X

○会社紹介
- 平成26年7月 ㈱ドコモCS東北 設立
- 営業系ドコモサービス東北＋NW・設備系のドコモエンジアリング東北を合併
- ドコモ100%子会社、現場業務をすべて実施している
  株式会社ドコモCS
  株式会社ドコモCS北海道
  株式会社ドコモCS東北
  株式会社ドコモCS東海
  株式会社ドコモCS北陸
  株式会社ドコモCS関西
  株式会社ドコモCS中国
  株式会社ドコモCS四国
  株式会社ドコモCS九州

○主な業務内容
- 携帯電話等の販売業務
- ドコモショップ・量販店等の支援業務
- 法人営業業務
- 通信ネットワークの建設及び保守業務
- インフォメーション・センター等のコールセンター運営業務

会社名のCSには、
「お客様に心からご満足いただく（Customer Satisfaction）」
「心のこもったお客様サービス（Customer Service）」
「安心と信頼の通信サービス（Communication Service）」
の3つの意味を込めました。



○主な社歴
- 昭和61年 NTT入社（仙台青葉通り支店）（24歳）
  ・NTT2年目 ISDN憧れ
- 平成2年 NTT東北総支社企画部事業計画担当（29歳）
  ・毎晩1時～2時頃まで仕事
  ・組合員が3名しかおらず、毎日お茶出しの茶碗洗い、回避するためコーヒーメーカー導入
- 平成4年 エヌ・ティ・ティ移動通信網㈱東北支店（31歳）
  ・入社6年でNTTから転籍
  ・事業計画、販売計画が主な業務
  ・その頃はポケットベルが主流
- 平成10年 本社 衛星ビジネス部（37歳）
- 平成11年 エヌ・ティ・ティ東北移動通信網㈱ 福島支店 代理店担当課長（38歳）
  （平成12年に㈱エヌ・ティ・ティ・ドコモ東北に社名変更）
  ・ｉモード開始　携帯電話の時代へ
  ・初めての福島勤務
- 平成17年 本社 営業部 溜池山王にあり消費者庁も入っているビル（44歳）
  ・首相官邸が隣
- 平成21年 ドコモサービス東北㈱ 販売促進部 部門長 子会社出向（48歳）
  ・ドコモショップ直営店9店舗、配下運営店5店舗、全14店舗を担当

・平成23年・東日本大震災（50歳）
　・担当ドコモショップ5店舗が全壊または津波被害（東北全体全壊12店舗中）
　・ドコモビルは自家発電なので停電にならない
　・充電サービス 一人10分
　・エリアメール（最大震度5弱以上予測で震度4以上エリアに発信）は重要
　・大震災で基地局そのものの被災は全体の数%、停電と伝送路断が中断原因
　・大震災を教訓に基地局のエンジンによる無停電化やバッテリー24時間化
※4月の熊本地震では、大震災を教訓とした対策により、全市町村役場におけるサービス中断は発生せず
・平成24年 ㈱エヌ・ティ・ティ・ドコモ東北支社 岩手支店 副支店長（51歳）
・平成26年 ㈱エヌ・ティ・ティ・ドコモ東北支社 営業部 代理店営業担当部長（53歳）
・平成28年 ㈱ドコモCS東北 福島支店長（2度目の福島勤務）（55歳）
　・県内出身の支店長は少ない
◆転勤回数 全16回
○会津っぽ「ならぬものはならぬ！」
・会津藩 什の掟

私のひとこと　岡田新也 会員



フルーツ王国福島

福島県は「桃」、「梨」、「りんご」など多種多様な果物があり、1世帯あたり果物消費量が日本で最も多い県です。（2010年までの調査）また福島市は市町村別、梨の生産量第1位、桃の生産量が第2位です。しかし最近、若い世代を中心に果物離れが進んでいます。日本は先進国の中で果実消費量は最低クラスで欧米の3分の1から半分しか食べていません。嗜好品で、他のデザートもある事も要因の一つです。これからの時期は梨の「王秋」や福島産の蜜入りの「ふじ」などがお勧めで、直売所で見かけたら、是非お求めになってみてはいかがでしょうか。

お客様並びに来訪ロータリアン紹介

● RI第2530地区県北第一分区ガバナー補佐
善方　邦雄 様
（二本松あだたらロータリークラブ）

● RI第2530地区県北第一分区幹事
高橋　修二 様
（二本松あだたらロータリークラブ）

● RI第2530地区県北第一分区幹事
安部　敏弘 様
（二本松あだたらロータリークラブ）

大口寄付の認証式　感謝の辞

本日は、国際理解と平和という目的のために多大な支援をよせてくださった阿久津肇PG、加藤義朋会員に、ロータリー財団管理委員会に代わって感謝の意をお伝えすることができ、誠に喜ばしく感じております。

阿久津PGと加藤会員は、ロータリー財団プログラムのために、多額の寄付をお寄せくださいました。このような寄付は多くの人々の人生を大きく変える財団の人道的・教育的プログラムに対する阿久津PGと加藤会員の熱意とご支援の証であります。ここにささやかな感謝の品をお渡ししたいと思います

今回、大口寄付者となられた阿久津PG、加藤会員をはじめとする寄付者の方々のおかげで、恵まれない人々への人道的奉仕が可能となり、子供や青少年に希望がもたされます。人類の未来に対するこのような投資への感謝の気持ちとして管理委員会に代わり、クリスタルとダイアモンドのピンを贈呈させて頂きます。クリスタルには、お名前、そして平和の象徴であるハトとオリーブの枝が彫り込まれています

惜しみないご支援をお寄せいただいたことに、重ねて心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



●阿久津　肇 パストガバナー



●加藤　義朋 会員

ニコニコBOX報告　〈報告〉熊坂仁美 委員

本日のニコニコBOX投入額　32件　¥71,000　累計 ¥1,136,000

古俣　猛 会長
善方ガバナー補佐のスピーチ。勉強させて頂きます。宜しくお願い致します。今年も残り僅かとなってきました。会員の皆様積極的なロータリー活動をお願い申し上げます。

県北第一分区ガバナー補佐　善方邦雄 様
幹事　安部敏弘 様
幹事　高橋修二 様
本日はクラブ訪問させて頂きました。宜しくお願い致します。

茂田士郎 会員
私達の青春時代には明治は遺産、大正はロマンと言われていました。今は昭和がセピア色の写真。平成はフルカラーだそうです。昭和何年頃でしょうか、大学新卒の新入社員を称して“新人類”と言った人がおりました。いま、その新人類の人たちがそれぞれの職場の管理職になっていてそろそろ定年を迎える頃だとか。昭和はすでに遠くなりつつあります。

相良元章 会員
本日インフルエンザ予防接種をして参りました。おかしな行動をしないように気をつけます。

他クラブ会員より／安斎圭一／信国一朗／野原邦亮／今井理基夫／吉田大樹／反後太郎／佐藤美奈子／大沼健次／江刺家宏樹／三木エリカ／鷲丸直久／幡 研一／児玉健夫／森 洋一／安藤健次郎／浦部 博／高倉裕行／森岡幸江／熊坂仁美／勝見浩二／坪井大雄／黒崎浩一／氏川守義／安藤錬雄／増子 勉／加藤義朋／管野裕一／田沼紀美子